

# 30年度 6月 園だより

- <教育目標> ・元気に遊ぶ子ども  
・豊かに感じる子ども  
・考え工夫する子ども

H30. 5. 30 文京区立本駒込幼稚園



## 季節を感じながら過ごす楽しみ

副園長 和島 千佳子

先日、プロ・ナチュラリストの佐々木洋先生を園にお迎えし、4、5歳児学級の子どもたちと園庭の自然観察をする「わくわく自然体験」を行いました。今、園門近くのブドウやカキの木が小さな緑の実をつけています。佐々木先生はその小さな実の様子を赤ちゃんや子どもにたとえ、「この場所は、今の季節は果物の幼稚園だね。」とお話されました。そのお話は子どもたちの感覚にフィットして受け止められたようで、その後、木の下に落ちている小さな実を「カキの赤ちゃんだ!」と拾い集めたり、ブドウの木を見上げて実を見付けて「いっぱいあるね。大きくなったら食べられるかな。」と友達と話したりする姿が見られます。

日本には四季の移り変わりがあり、自然の変化や、その季節ならではの過ごし方や楽しみがあります。やがて来る実りの秋を思いながら「楽しみに待つ」という気持ちを子どもたちに育みたいものです。また、暑くなってきたこの時期は、水に触れて遊ぶのが気持ちよくなってきます。子どもたちは、砂場で水を使いダイナミックに遊んだり、園内に落ちている実や葉、摘んでよい植物ゾーンの花や葉を水や砂などと一緒に使ってごちそうや色水作りをしたりしています。保育者は、子どもたちの遊ぶ様子をよく見て、楽しんでいることや経験していることを捉えます。そして、一人一人の子どもがさらに遊び込み、遊びの中での気づきや考えの広がりや深まりがもたらされるように環境や働きかけの工夫をしています。

今月は、幼稚園公開や個人面談などがあります。この機会に、今の時期のお子さんの様子や学級や園の子どもたちとの過ごし方など、保育参観をしていただきたいと思います。子どもたち一人一人の成長の過程にはさまざまな姿があり、喜ばしい変化も見られれば、停滞や逆戻りのように感じる姿もあるかもしれません。個人面談では、保護者の方と担任とのお話から、園と家庭とが手を携えて子どもたちの成長発達を支えていく機会にしたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



<ブドウの実 5月下旬>



<カキの実 5月下旬>